履　歴　書

2026 年 10 月 20 日 現在

ふりがな	ラーマン　ムハマド ムスタフィズル	性　別	
氏名	Rahman Md Mustafizur	男	
生年月日	1999 年 2 月 27日生　（満 27 歳）	㊞	
ふりがな			電話番号
現住所	[〒 630 － 0101] 奈良県生駒市高山町 8916-5 学生宿舎 3-303		09075127564
E-mail	rahman.md_mustafizur.rp6@naist.ac.jp	ポートフォリオサイト	https://mustafizur-r.github.io/

年	月	学　歴・職　歴
		【学　歴】
2017	1	ラジシャヒ大学 情報通信工学部 入学 (バングラデシュ)
2020	12	ラジシャヒ大学 情報通信工学部 卒業
2023	10	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士前期課程 入学
2025	9	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士前期課程 修了
2025	10	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士後期課程 入学
2028	9	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士後期課程 修了見込
		【職　歴】
2022	6	Talent Pro 入社 (バングラデシュ・ダッカ)
		SQAエンジニアリーダーとして勤務（シンガポール企業のプロジェクトを担当）
2023	8	Talent Pro 退職
2025	3	トレント大学 研究インターンシップ開始（Erasmus+ ICMプログラム、イタリア）
2025	5	トレント大学 研究インターンシップ修了
		以　上

自 己 紹 介 書

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術 研究科 博士後期課程 2年 課程 先端科学技術 専攻		ふりがな	ラーマン ムハマド ムスタフィズル
		氏名	Rahman Md Mustafizur
教育プログラム		情報科学・工学教育プログラム	
研究内容等	研究室名	インタラクティブメディア設計研究室	
	テーマ	自然言語に基づく病的歩行動作の生成・修正とVRによる理学療法士の観察訓練支援	
	指導教員	加藤 博一	
	内容	私は、AIとVRを活用した医療・リハビリテーション支援技術の研究に取り組んでいます。特に、理学療法士の歩行観察訓練を支援するため、自然言語による指示から患者の異常歩行動作を生成・修正できるVRシステムを開発しています。 本研究では、大規模言語モデル（LLM）と医学的知識を組み合わせ、歩行の特徴や重症度を調整できる仕組みを構築しました。また、理学療法士8名を対象としたユーザー評価を実施し、生成動作の自然さや臨床的特徴の再現性を検証しました。 現在は、深層学習や生成AIを活用し、より自然で精密に制御可能な人体動作生成・修正技術の研究を進めています。	
学生時代に打ち込んだこと		学生時代は、AI、VR、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション（HCI）、人体動作解析を組み合わせた研究開発に力を入れました。 特に、医療分野の課題を解決するため、ユーザー中心設計を重視し、関連研究の調査からシステム設計、実装、ユーザー実験、データ分析まで一貫して取り組みました。 また、国内外の研究者との共同研究を通じて、異なる専門分野のメンバーと協力する経験を積みました。研究成果を国際会議で発表し、専門的な内容を分かりやすく伝える力も身につけました。	
自 己 P R		私の強みは、研究と実務の両方で培った問題解決力、ソフトウェア開発力、そして新しい技術への適応力です。以前はSQAエンジニアリーダーとして、ソフトウェアの品質向上やチームでの課題解決に取り組みました。現在は、AI、機械学習、VR/XR、HCIの知識を活かし、研究課題の分析からシステム設計、実装、評価まで主体的に進めています。また、国際的な研究環境で多様な専門分野のメンバーと協力してきました。これらの経験を活かし、新しい技術の研究開発に貢献したいと考えています。	
志望動機		私は、AI、VR/XR、HCI、ソフトウェア開発の知識と経験を活かし、人々の生活をより豊かにする技術の研究開発に携わりたいと考えています。これまでの研究と実務経験を通じて、技術的な課題を発見し、解決策を実装・評価する力を培ってきました。特に、研究成果を実際の製品やサービスにつなげることに関心があります。貴社の研究開発環境で新しい技術に挑戦し、専門性をさらに高めながら、社会に役立つ製品やサービスの開発に貢献したいと考えています。	

資格・免許・賞・記録・特技など	**【受賞歴・実績】** ・2026年 International Conference on Activity and Behavior Computing (ABC 2026) Best Position Paper Runner-Up Award 受賞 ・2025年 文部科学省国費外国人留学生（MEXT）奨学金 採用（博士後期課程） ・2023年 文部科学省国費外国人留学生（MEXT）奨学金 採用（博士前期課程） ・2025年 Erasmus+ International Credit Mobility（ICM）プログラム（イタリア・トレント大学）参加 ・2023年 Talent Pro Tech Genius Award 受賞 ・2019年 IEEE Robotics and Automation Society（RAS）Bangladesh University of Engineering and Technology（BUET）Winter School Hackathon 準優勝 ・2019年 Leveraging ICT for Growth, Employment and Governance（LICT）Job Fair Robotics Competition 準優勝 **【学会発表】** ・2026年 International Conference on Activity and Behavior Computing (ABC 2026)（国際会議・口頭発表） ・2025年 IEEE International Conference on Metrology for eXtended Reality, Artificial Intelligence and Neural Engineering (MetroXRAINE 2025)（国際会議・共著論文） ・2024年 The 16th Asia-Pacific Workshop on Mixed and Augmented Reality (APMAR 2024)（国際ワークショップ・口頭発表） ・2022年 International Conference on Recent Progresses in Science, Engineering and Technology (ICRPSET 2022)（国際会議・口頭発表） **【資格・研修】** ・2026年2月 AI Engineer Core Track LLM Engineering、RAG、QLoRA、AI Agents 修了 ・2019年5～6月 AR・VR・MR技術開発研修 修了 ・2019年1～2月 Arduino・ロボティクス技術開発研修 修了 ・2019年2～4月 モバイルゲーム・アプリケーション開発研修 修了 **【技術・特技】** ・プログラミング言語：Python、C#、C/C++、Java、Bash ・AI・機械学習フレームワーク：PyTorch、TensorFlow、scikit-learn ・深層学習・生成AI：Transformer、RNN（LSTM・GRU）、Seq2Seq、VAE（変分オートエンコーダ）、拡散モデル（Diffusion Models）、LLM、RAG、LoRA/PEFT ・XR・3D開発：Unity3D、Meta Quest、HoloLens、Apple Vision Pro、Azure Kinect、Blender ・バックエンド・API開発：FastAPI、REST API、SQL、WebSocket ・開発環境・運用：Linux、Docker、Git/GitHub、APIホスティング、機械学習・深層学習モデルのデプロイ ・研究・HCI：ユーザー実験設計、統計解析、定性分析、ユーザビリティ評価 ・専門分野：リアルタイムXRシステム、人体動作生成・リターゲティング、医療・リハビリテーション支援